



YAMATO
MOBILITY & MFG.

証券コード 7886

創業100年へ向けた新たな挑戦

2025年7月18日

個人投資家向けオンライン企業IRセミナー

ヤマトモビリティ&Mfg.株式会社

1 当社概要

2 事業内容

3 決算概要

4 創業100年へ向けた新たな挑戦

5 モビリティ事業のご紹介

1. 当社概要

- 会社概要
- 沿革
- 拠点

[創業]

1937年(昭和12年) 2月11日

創業88年

[資本金]

1,037,028,272円

[上場市場]

東証スタンダード市場 (コード番号7886 ※1995年JASDAQ店頭登録)

[代表者]

代表取締役CEO / 鈴木 昭寿

代表取締役COO / 重岡 幹生

[本社所在地]

埼玉県川越市古谷上4274

[従業員数]

90名(単体) / 928名(連結) ※2024年3月末現在



代表取締役CEO
鈴木 昭寿



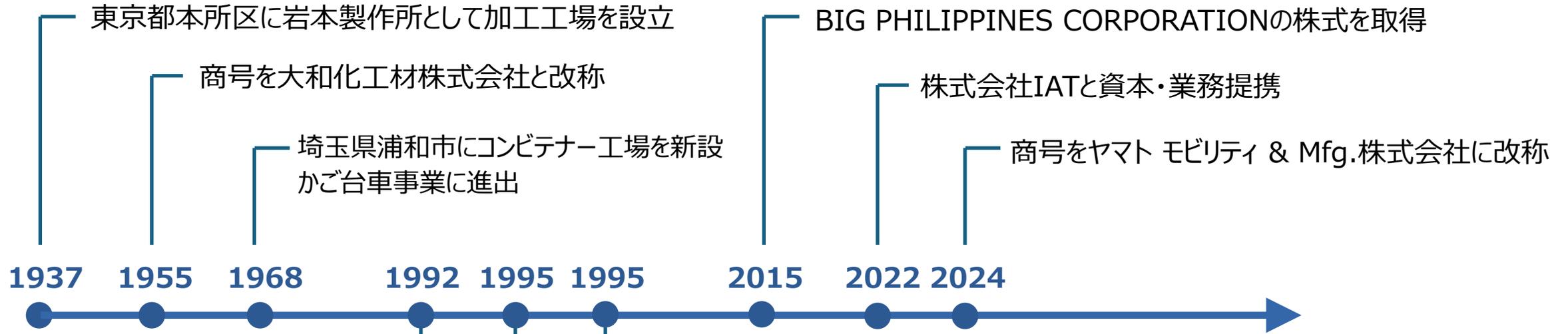
代表取締役COO
重岡 幹生



川越本社



横浜事業所





大和高精密工業
(深圳)有限公司

亞碼特貿易
(上海)有限公司



大阪営業所



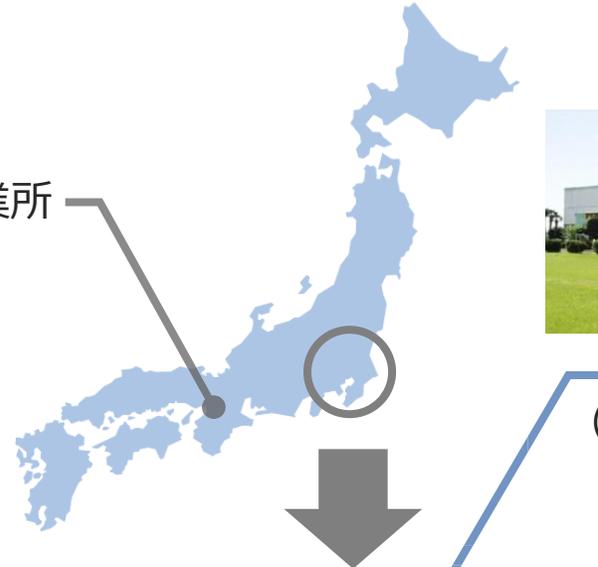
埼玉ヤマト
(埼玉県深谷市)



香港大和
工貿有限公司



BIG PHILIPPINES
CORPORATION



川越本社
川越工場

東京本社



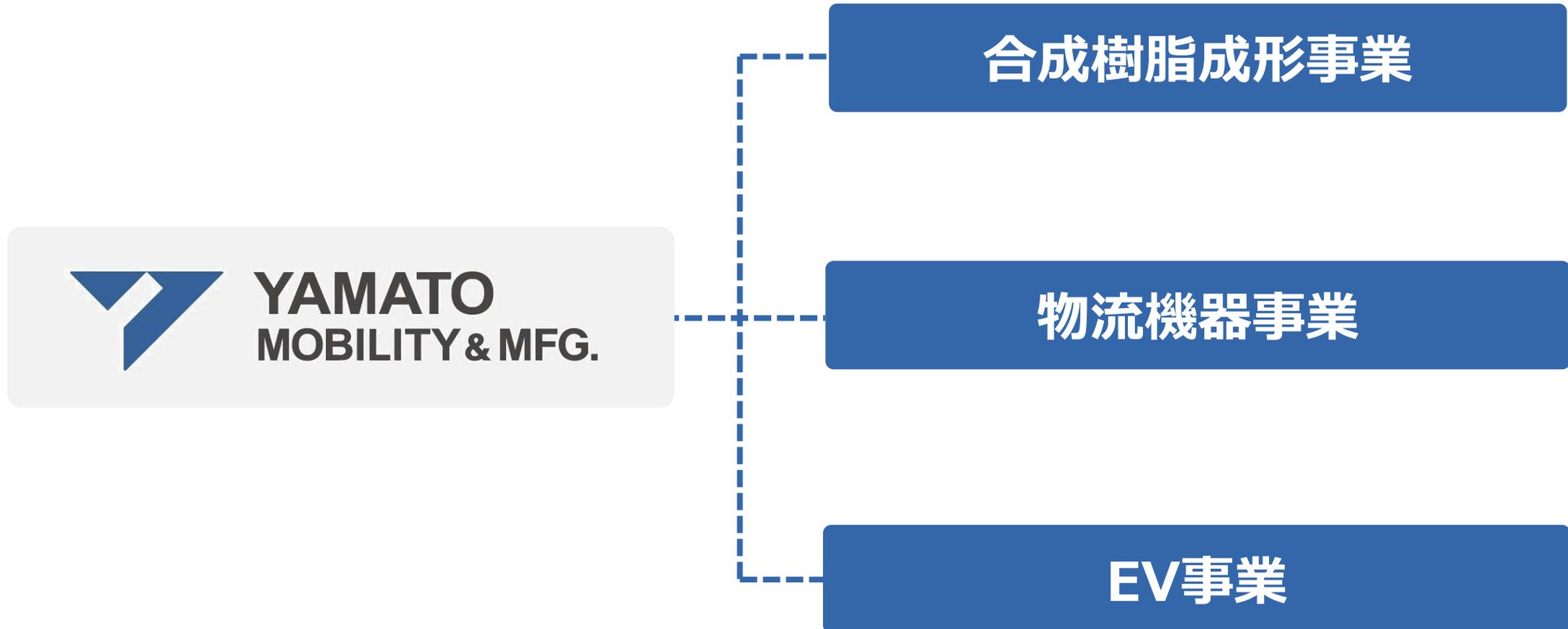
ヤマト・テクノセンター
(埼玉県三芳町)

横浜事業所

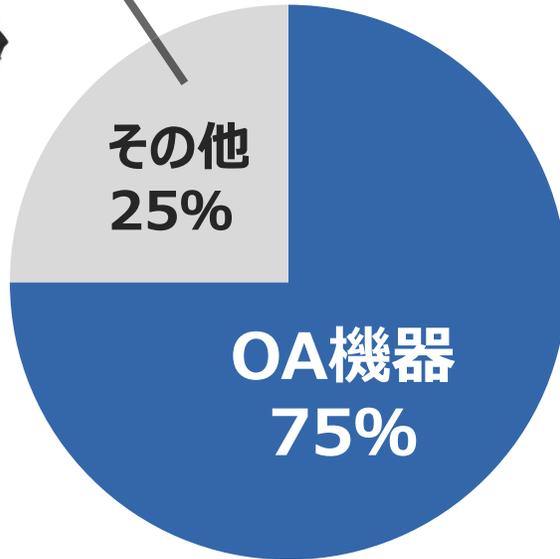
2. 事業内容

- ・ 合成樹脂成形事業
- ・ 物流機器事業

ヤマトを支える3つの事業



住設機器
自動車部品
家庭用品など

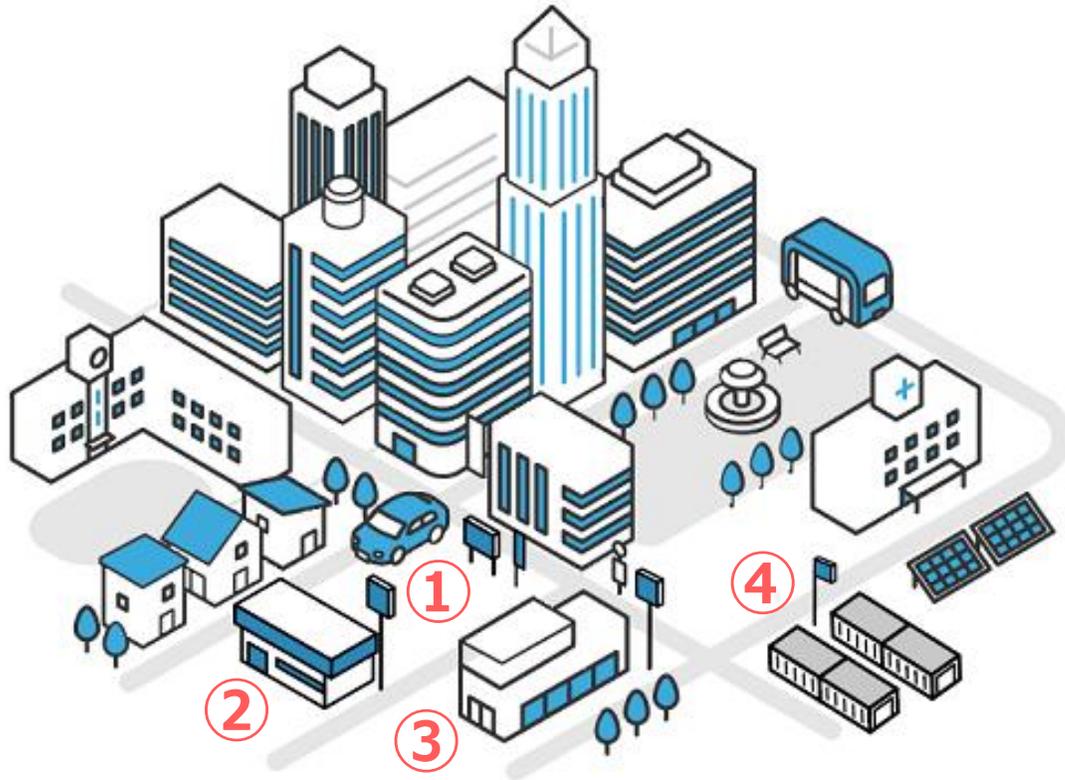


仕事の未来を支えるオフィス機器をサポート



射出成形をコアとした樹脂成形品及び金型の製造・販売

全国の街づくりに貢献するヤマトの看板



- ◆企画・設計・製造・施工までワンストップサービス
- ◆真空成型を用いた製品の企画・設計・製造

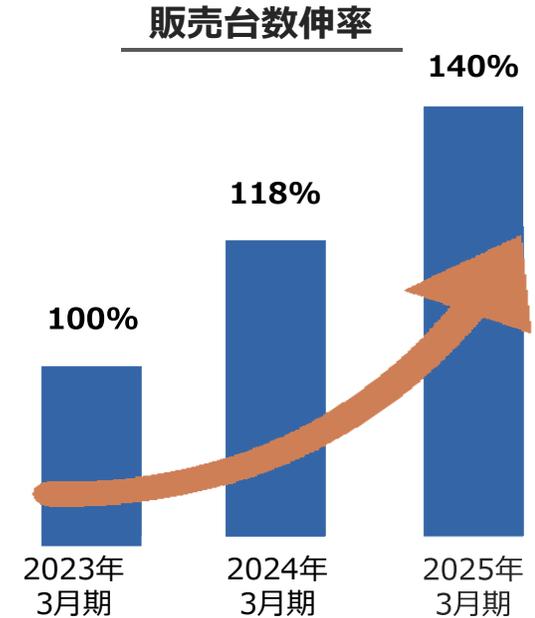
日本初の“かご台車”（コンビテナー）の生みの親、物流革命の草分け

豊富な製品ラインナップと優れた商品開発力

18シリーズ56種類の規格品を中心に、お客様のニーズに合った特注台車も積極的に展開
当社の技術力と品質力は、各業界のお客様からもご評価いただいております。



MC-4



コンビテナーは、運送・宅配などの物流現場から、スーパーマーケット、ドラッグストアなどの流通現場まで、様々な現場で活躍しています！



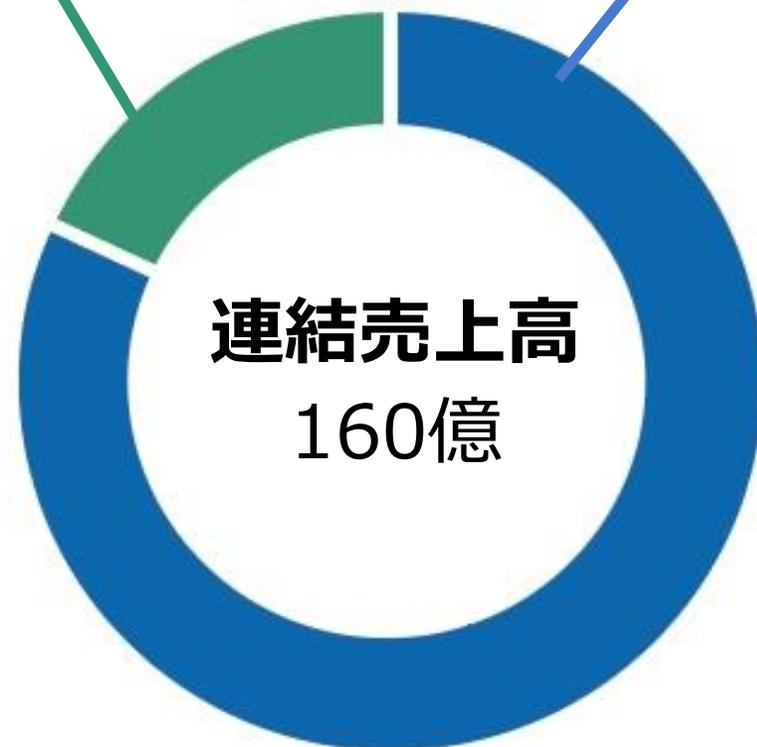
3. 決算概要

- ・ セグメント別売上構成
- ・ 連結業績推移
- ・ 海外事業の再構築

物流機器事業
20%

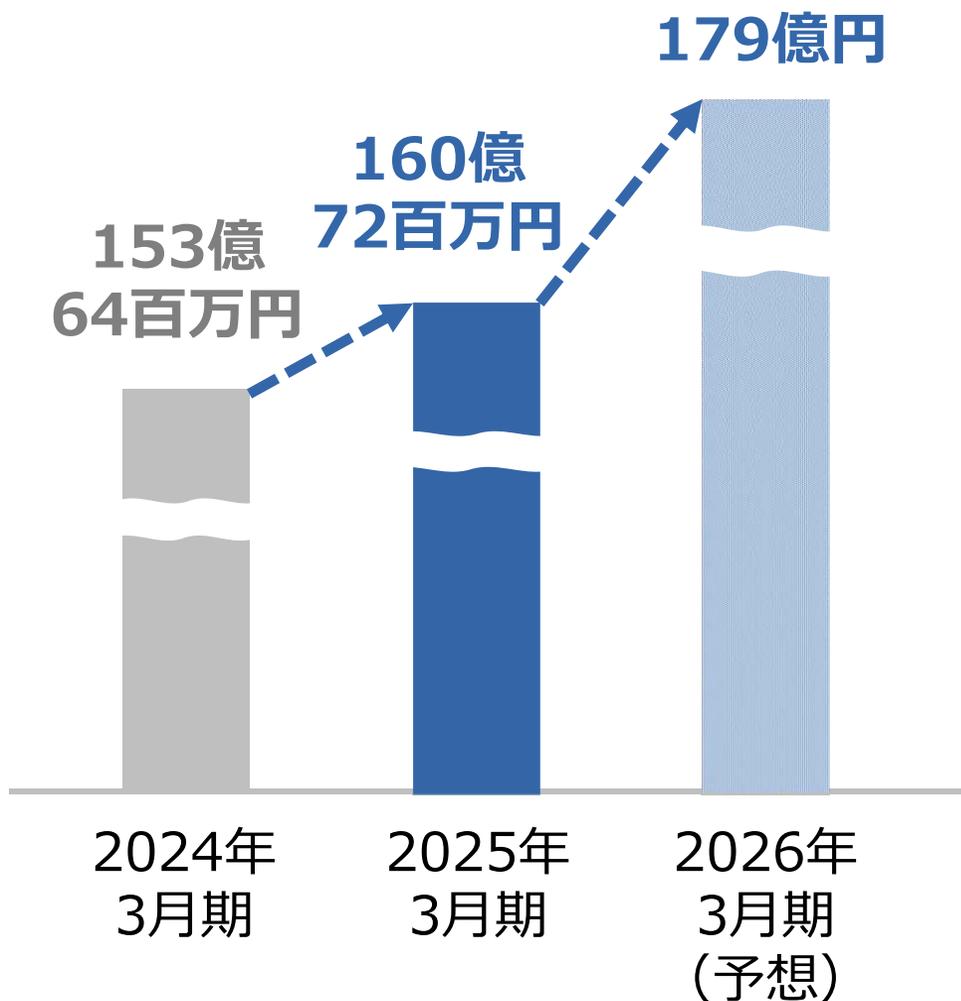


合成樹脂成形事業
80%

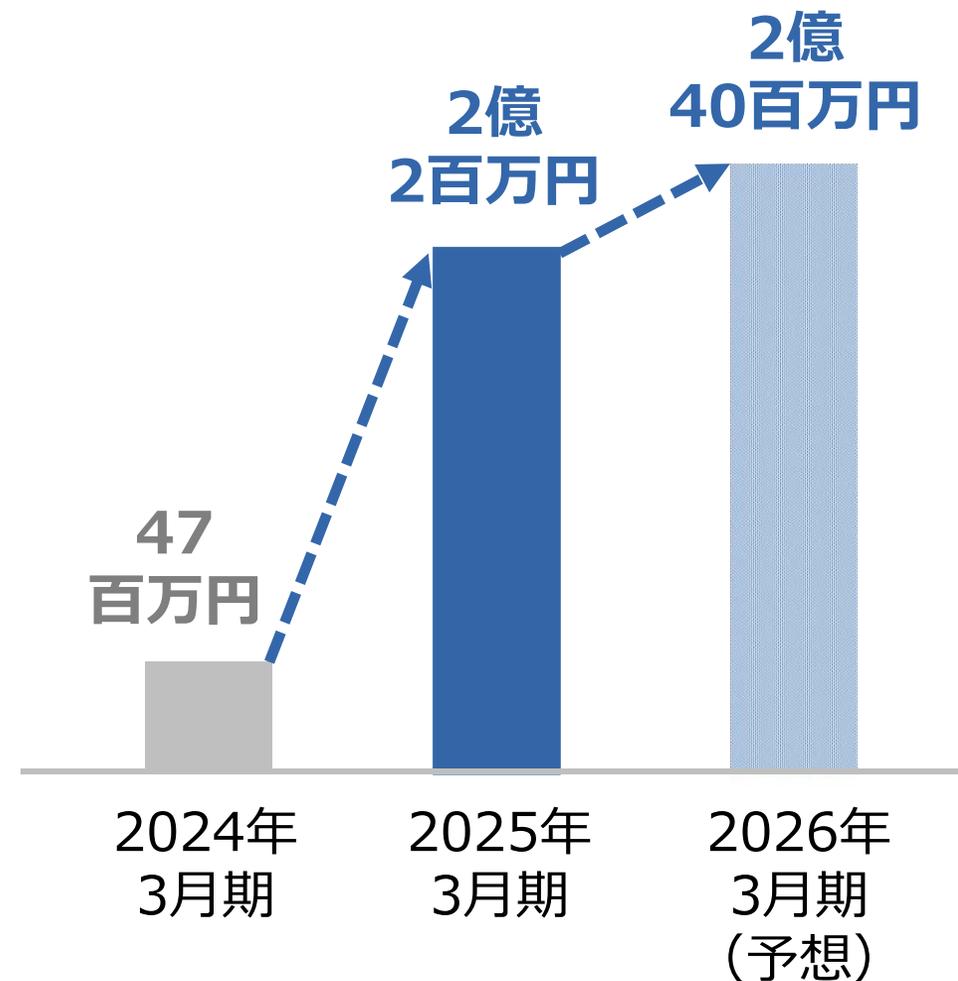


連結売上高
160億

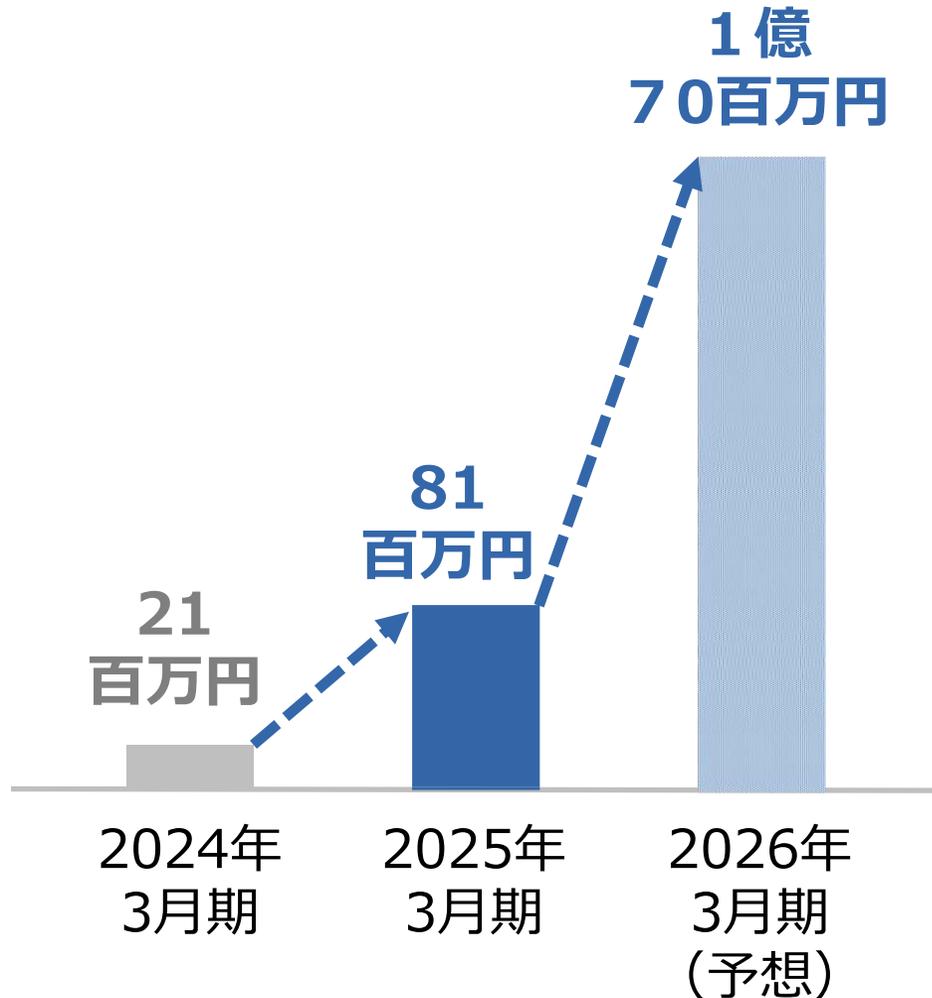
売上高



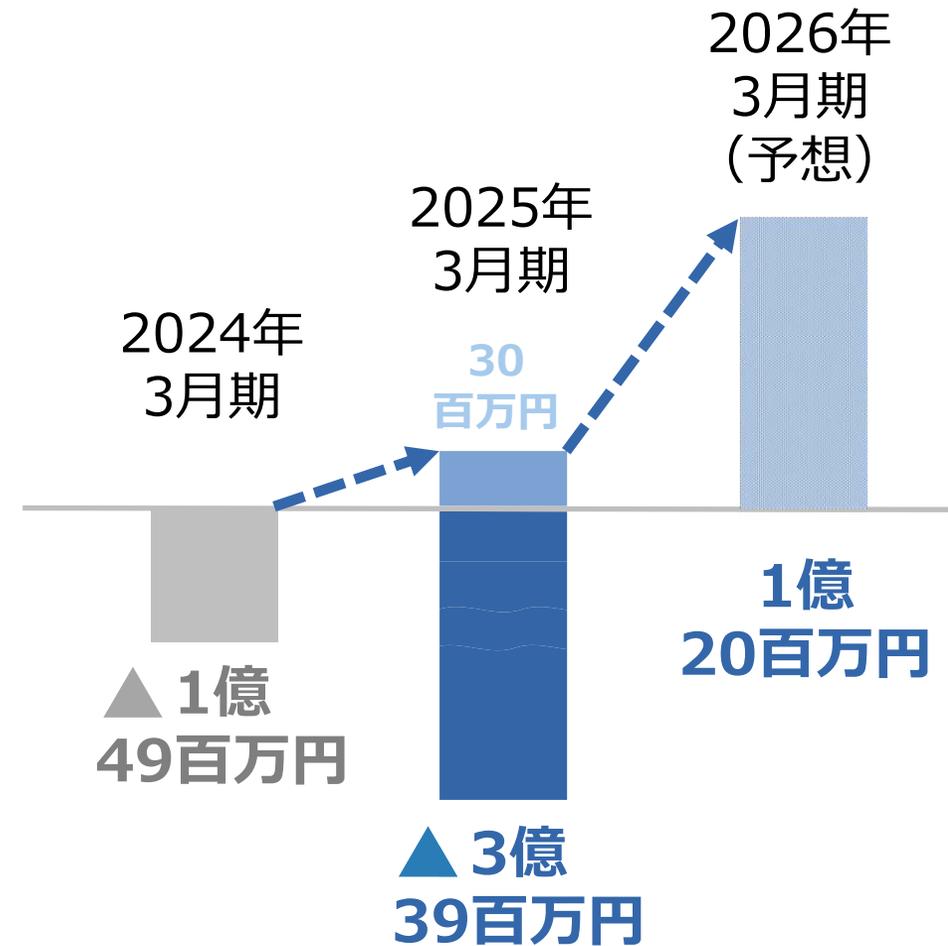
営業利益



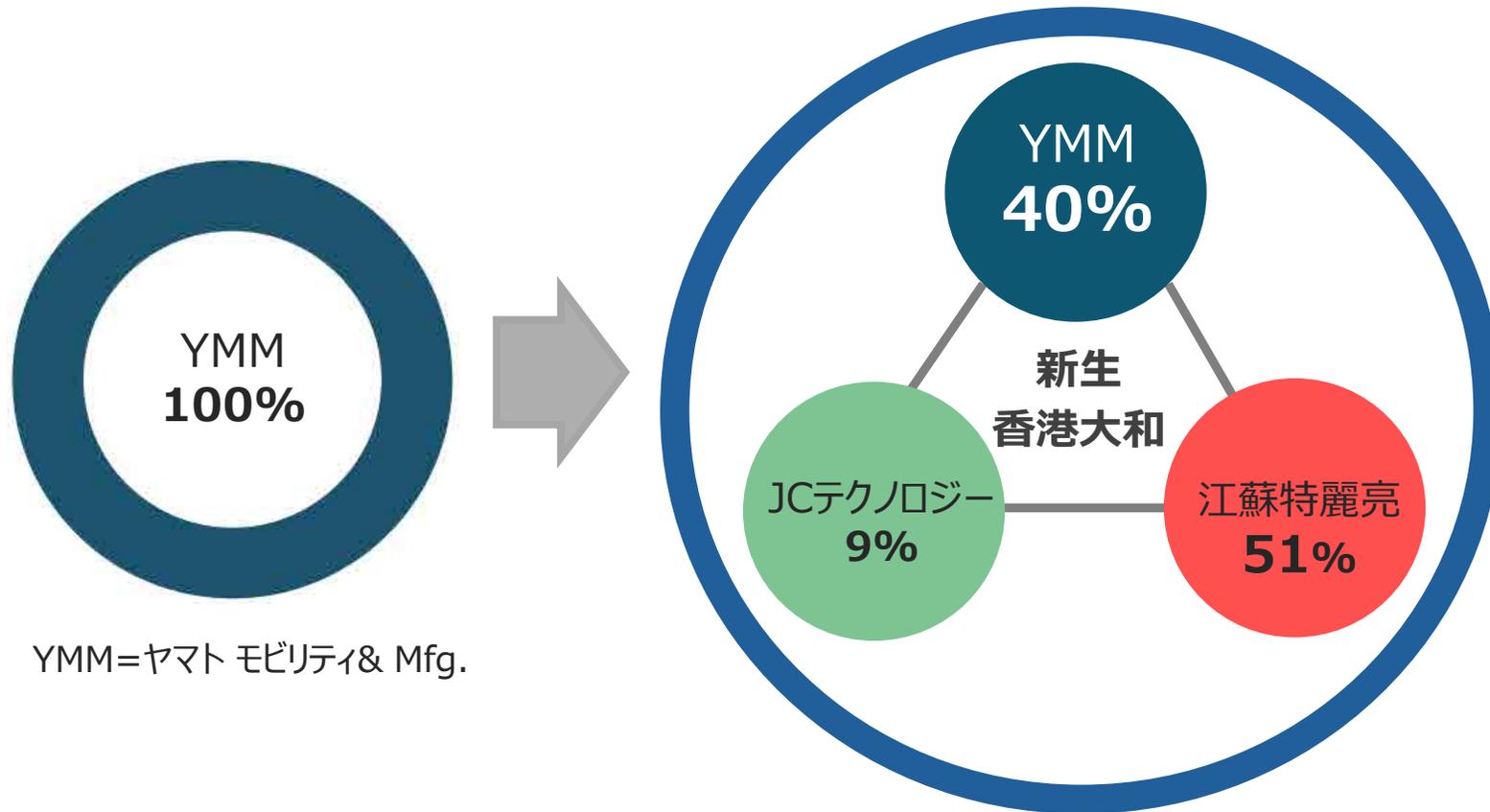
経常利益



当期純利益



◆ 中国子会社の出資持分を一部戦略的パートナーへ一部譲渡



《新たに期待されるシナジー》

- 1 技術連携による既存顧客への提案力強化
- 2 ローカルネットワークを活用した新規市場開拓

3社の強みを活かし、中国市場の持続成長と収益基盤を強化

4. 創業100年へ向けた新たな挑戦

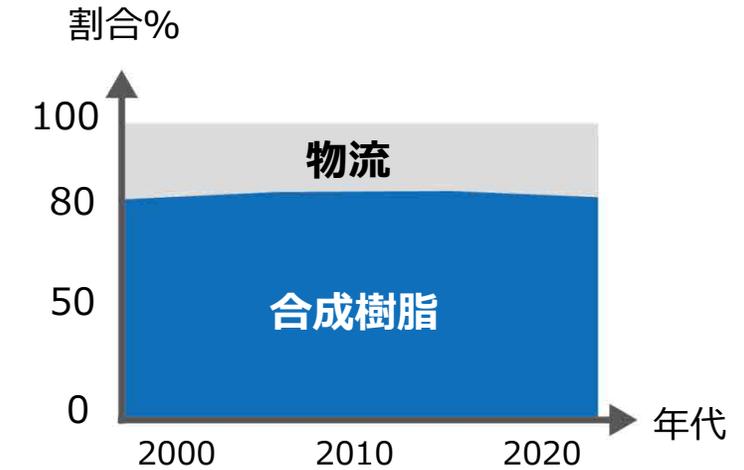
- ・ 自動車関連事業への挑戦
- ・ 自動車関連事業への挑戦 ～IATとの資本提携～
- ・ EVを中心とした当社のビジョン
- ・ 当社CEO鈴木の挑戦

1 長年収益の安定化に貢献してきた合成樹脂成形事業

2 新たな収益源を求め、自動車部品分野への進出を検討

3 事業強化の一環として、樹脂成形会社を買収（2017年）

4 事業ポートフォリオの最適化を目指し、早期に事業構造の見直しを実施



- 5 2021年に戦略的パートナーシップの構築に向けた検討を加速化
- 6 2022年10月 IATグループとの戦略的資本・業務提携



幅広い顧客資産を保有



中国No1 自動車開発会社

世界最大のEV市場から、
競争力のあるEV技術や部品を導入

BUSINESS GROWTH

他社には無い、大きなアドバンテージ

地球にやさしい輸送の未来づくり



中国EV技術の導入



環境に優しい物流車の開発



EVの普及に貢献

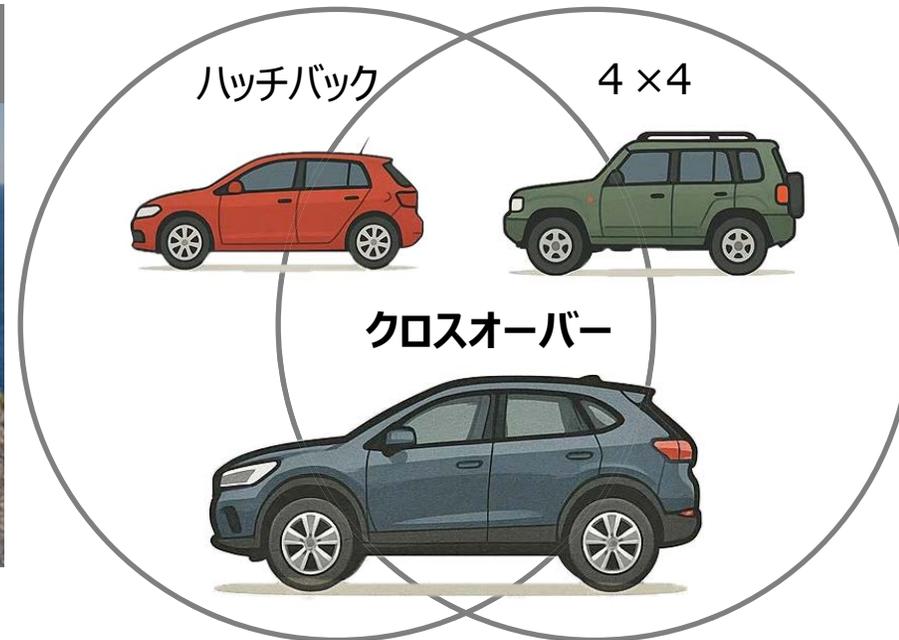
社会に必要とされ続ける100年企業へ



新たな価値の創造



日産 キャシュカイ



商品開発リーダとして**クロスオーバー**という新しいカテゴリーの車を開発

欧州を中心に、中国その他世界中で240万台の販売を記録

各社新車開発のロールモデルとなる



2024年10月1日社名変更

5. モビリティ事業のご紹介

- ・ モビリティ事業 3本の柱
- ・ ヤマトが目指す輸送の未来づくり
- ・ モビリティ事業の取り組み



1 中古トラックEVコンバージョン事業
(Start)



2 EV完成車輸入販売事業
(Start)



3 汎用電池モジュール事業
(Start)

■ 何故日本でEVが普及しないのか？

①

EVトラックの
価格の高さ



②

航続距離の短さ



③

バッテリー寿命の
問題



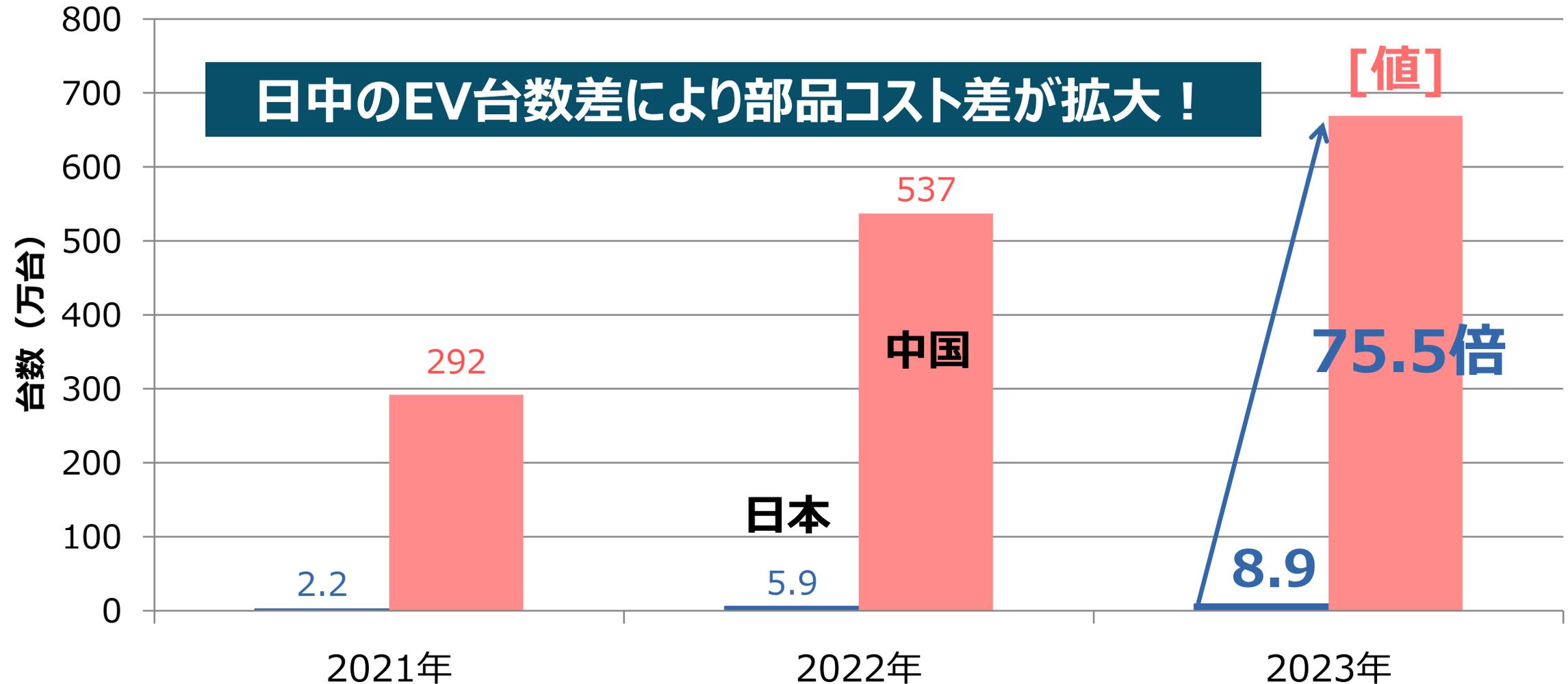
④

充電インフラの普及が
進んでいない



＜日中バッテリーEV販売台数比較＞

■ 日本 ■ 中国



※ 出展元：JAMA日本自動車工業会

EVコンバージョントラック事業のコンセプト ～新たな付加価値の創造と提供～



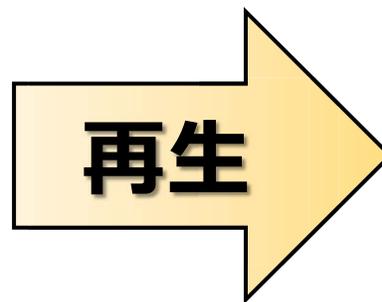
中古ディーゼルトラック



エンジン、ミッションなど



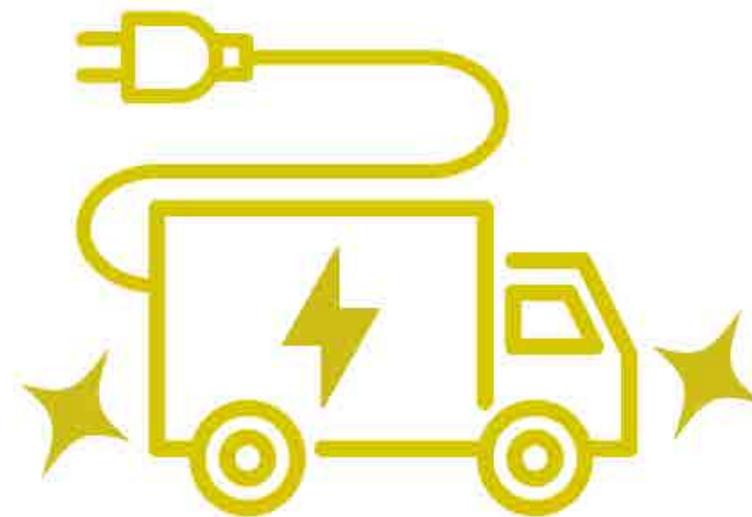
取り外し



再生

- 低コスト
- 高品質
- 短時間

国内初！



EVトラック



EVモーター、バッテリーなど

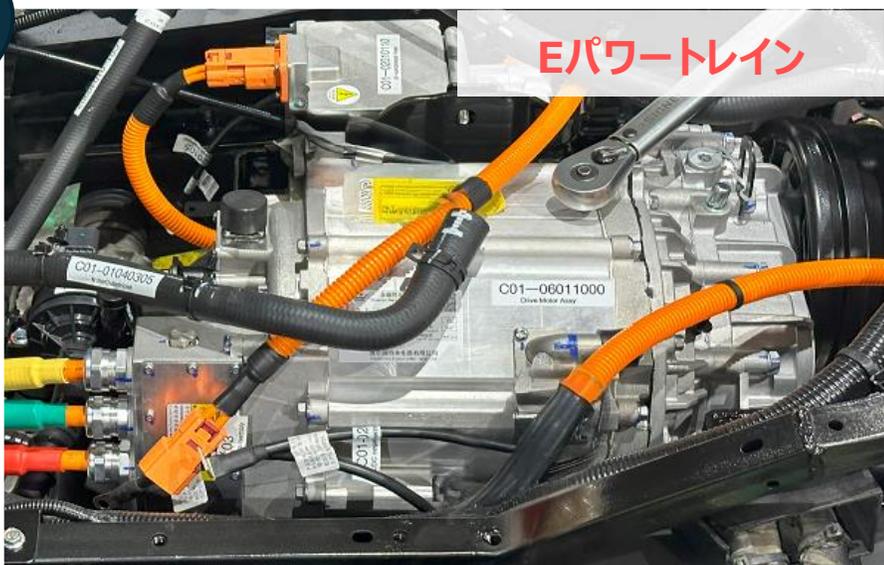


取り付け

1



2



信頼性、耐久性とコスト競争力の両立

① 日本製トラックの**耐久性**を保持

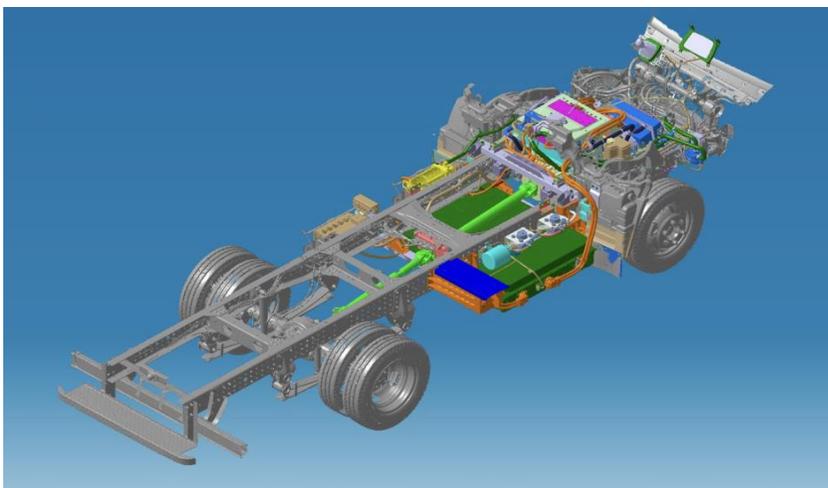
- シャーシ、フレーム、キャビン等の構造部品の活用
- 法定3か月定期点検、1年車検による十分な整備

② 中国製の競争力のある部品を採用

- 中国市場において実績があり、**コスト競争力**に優れたバッテリー、モーター等の部品を厳選し採用

◆ これらの**融合**により新車EV価格の1/3~1/4のコスト

日中融合によるシナジーの創出



わずか2日半でEV化完了！

- ◆ **改造キット** : 必要な部品をまとめてパッケージで提供
- ◆ **完全ボルトオン設計** : スキルを問わず安定した品質を実現

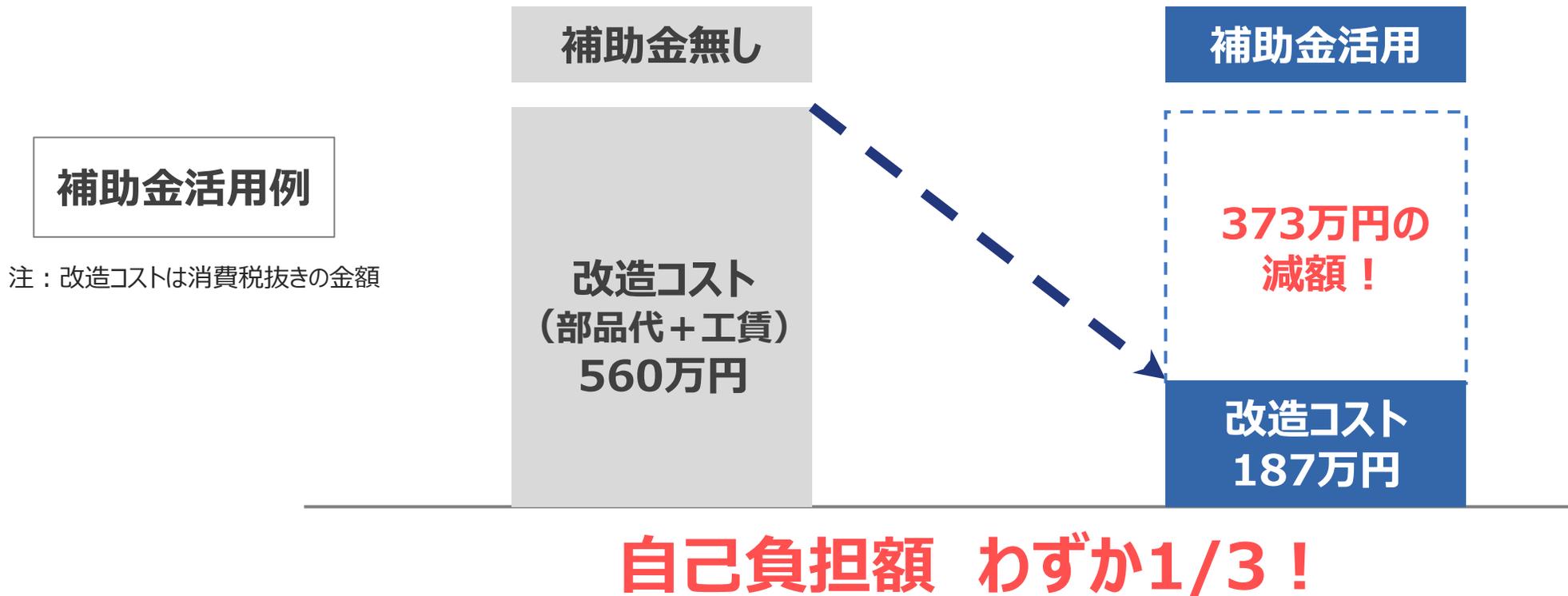
※ 改造キット 特別な工具を必要とせずに取り付けられるパーツのセットのこと
ボルトオン 溶接ではなく、ボルトおよびナットにより部品を接合すること

短納期・高品質の実現

EVコンバージョントラックの補助金について

- 2024年7月、「EV改造トラック」が商用トラック電化補助金の支給対象として追加
- 2024年度（令和6年度）補正予算 商用車等の電動化促進事業にて、当社製品が補助金対象として正式認可
- 受付期間：2025年3月31日（月）～2026年1月30日（金）

<執行団体>



1

振り返り
(～2025年6月)



2

今後
(2025年7月～)



EVコンバージョントラック事業

2024年度

◆ 量産・量販へ向けた最終準備の推進

1 戦略パートナーとの取り組み

2024年11月

- ・ **国内初!** 量産前提のEVコンバージョントラックの開発完了
- ・ SBSグループを対象とした試乗会及び、現場環境調査の実施

2025年1月

- ・ 関東圏内で量産車を順次納車に向けた公道検証を開始

2 新規市場開拓の取り組み

- ・ 物流企業・荷主企業への積極的なアプローチとリサーチ
- ・ 商社やリース会社等との新ビジネススキーム開発



EVコンバージョントラック事業

◆ 量産・量販前提のEVコンバージョントラックとして**国内初**のナンバー取得

- ・ 政府補助金取得により、新型ディーゼル車購入の約3分の1の費用でEVトラックを導入可能

物流・流通業界におけるEV比率の向上と、環境負荷の低減に貢献



SBSホールディングスへ初号車納車式 (4/15)



ヤマトモビリティ デモ車 (2号車)

EVコンバージョントラック事業

◆ 事業領域の拡大を決定

↳ 25トンクラス大型トラックのコンバージョン事業進出

- IATと関西企業A社との**委託開発契約**を締結
(台数規模：1800台/5年を目標)
- ▶ 三菱ふそう25トントラックをベースとした、
大型トラック用EVコンバージョンキットの開発を進めていく予定
- 初年度**500台**の**購買契約**を締結

価格



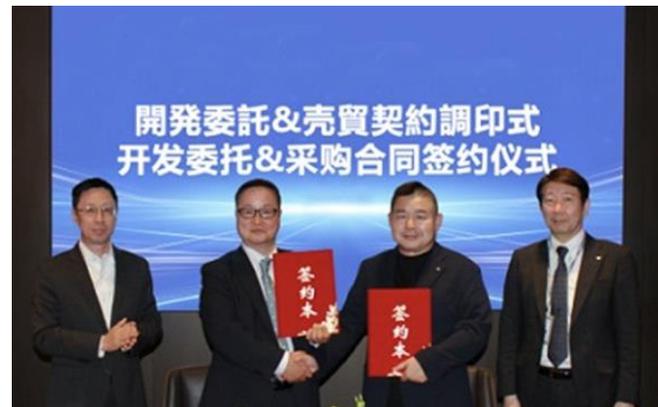
大



小



軽



三菱ふそう スーパーグレート

EVコンバージョントラック事業

◆ EVコンバージョントラックを中心としたPR/IR活動の積極推進

1 マスメディアを通じた広報宣伝活動

- TV (6/9) TV東京「ワールドビジネスサテライト」
 - ▶ テレビ放映による認知拡大
- 紙媒体 (6/10) トラック総合情報誌「フルロード」
 - ▶ 業界誌掲載による専門層への訴求



2 デジタル媒体の積極活用を通じた広報宣伝活動

- ▶ SNSを活用した若年層・一般層へのアプローチ



Instagram

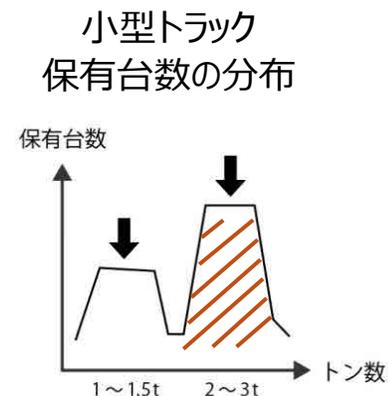


EVコンバージョントラック事業

◆ 商品ラインナップの充実 - EVコンバージョンキットのフルラインアップ化

1 小型トラック用EVコンバージョンキット適用拡大・追加

- ① 適用年式拡大 (2025年度にQ2に導入予定)
対象：2012年式1.5t ▶ 2012~15年式へ拡大
- ② 積載量拡大：2t/3t (2025年度中導入予定)
- ③ 冷凍・冷蔵車の追加 (2026年)



2 25t大型トラック用EVコンバージョンキットの開発・導入

国内初：2026年夏に開発完了予定

3 軽トラック用EVコンバージョンキットの開発

EVコンバージョントラック事業

◆ 2025 JMS (Japan Mobility Show) 出展を核とした広報活動



2025.10/30~11/9 (東京ビックサイト)

< YMMブース展示予定 >

- EVコンバージョントラック1.5T (量販車)
- 自動運転 小型無人物流車 (コンセプト)
- その他

◆ 販売戦略～実証の強化と幅広いお客さまの多面的なニーズへの対応

- 1 政府の補助金の最大活用**
 - 4月末に申請済みLEVO*補助金の対象に正式認定
- 2 量販開始記念キャンペーンの実施 (7月～)**
 - 購入検討企業への無料お試しと購入特典”の展開
- 3 充電器設置とエネマネサービスの提供**
 - 専門企業とのパートナーシップ締結・協業活動の展開

・ LEVO=
(財) 環境優良車普及機構



EV完成車輸入販売事業

- ◆ 日本市場に適した高品質かつ低コストのユニークなEV車両をご提供
- ◆ IATとの提携を通じて、EV48をベースに開発進行中

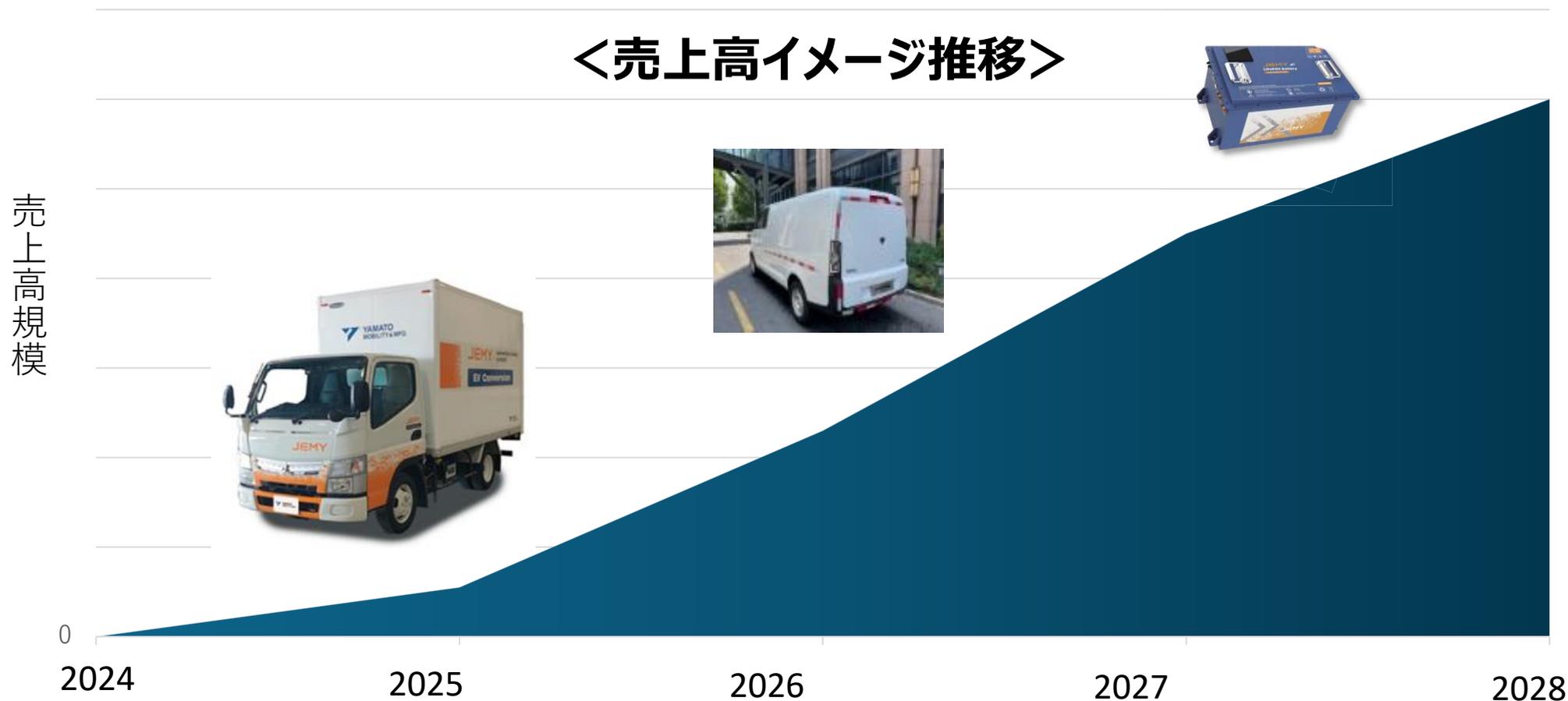


汎用電池モジュール事業

- ◆ EV向け高性能バッテリーセルを多用途に展開し、高品質と低コストの両立を目指す
- ◆ 2024年『国際物流総合展』にて、電池モジュール事業への参入発表



- 新規事業全体で売上げ200億円規模、営業利益 20億円を目標（2028年）



地球に優しい輸送の未来づくり

～サステナブルな物流への貢献～



本日はご参加いただき、
誠にありがとうございました。



YAMATO
MOBILITY & MFG.

JEMY®

【見通しに関する注意事項】



**YAMATO
MOBILITY & MFG.**

本セミナーおよびセミナー資料に含まれる将来の見通しに関する記載は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績などは、今後のさまざまな要因の変化によって、これらの見通しとは異なる結果となる可能性がありますことを、予めご了承ください。